

様式第4号（第6条関係）

令和3年4月30日

米子水鳥公園の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木隆司 様

鳥取県米子市彦名新田665
 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
 理事長 伊澤 勇 人

<p>管理業務の実施状況</p>	<p>(1) 施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 樹木等の管理育成その他米子水鳥公園の保全 ○ 施設等の保守点検、補修及び清掃 ○ 施設等の警備 ○ 施設等に係る経費の支払 <p>(2) 施設等の利用に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種届出書の受付 ○ 入館料等の徴収 <p>(3) センターの利用の促進に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報活動の実施等
<p>施設の利用状況</p>	<p>令和2年度のネイチャーセンター入館者数は16,415人、前年度比 6,415 人減となった。</p> <p>令和2年度は、特記事項として、4月14日～5月6日を新型コロナウイルス感染症のため休園とし、イベントも中止した。</p> <p>ただし、継続して米子水鳥公園及び周辺の自然環境の調査研究を行うとともに、その野鳥の専門知識を生かして鳥インフルエンザなどの課題にも対応した。</p> <p>普及啓発事業では、自然環境に関する学習活動として毎月定例の自然観察会及び手作り自然教室・米子水鳥公園絵画コンクール・園児が描いた鳥の絵展・子ども自由研究支援などのイベントの定員を半分にして実施した。</p> <p>他に子どもたちのボランティア、外部団体の研修、視察などを受け入れ、講師として野鳥の専門家を派遣したり研修会を実施したりした。地元の企業のボランティアや、地元自治会と合同で企画も計画したが、多くがコロナウイルス感染拡大の中止となってしまった。またクラブ活動として、子どもラムサールクラブ・ジュニアレンジャークラブなどを募集し事業を例年より人数を減らして実施した。</p> <p>また、今年度は米子水鳥公園の25周年記念式典を行った他、子どもラムサールクラブ・ジュニアレンジャークラブの活動に関して、鳥取県環境立県推進功労者表彰を受けた。</p>
<p>使用料（利用料金）の収入実績</p>	<p>令和2年度の入館料（一般入館券・割引入館券）及び年間パスポート券代金の収入実績 1,342,320円、前年度比 581,980円減となった。</p>

管理業務の実施に係る収支状況			
収 入		支 出	
項 目	金額 (円)	項 目	金額 (円)
米子市からの管理受託料	42,715,000	人件費	34,132,918
入館料収入	1,342,320	旅費交通費	19,000
イベント収入	104,300	通信運搬費	118,485
米子市公の施設管理運営		消耗品費	300,916
安定事業費補助金	304,494	修繕費	502,694
We Love鳥取キャンペーン		印刷製本費	0
推進事業補助金	21,890	燃料費	325,313
財団繰入金	636	光熱水料費	1,917,081
		賃借料	69,850
		保険料	0
		諸謝金	0
		租税公課	2,127,280
		負担金	0
		委託費	4,523,173
		図書費	0
		報酬費	450,780
		支払手数料	1,150
		雑支出	0
合 計	44,488,640	合 計	44,488,640